

# 三中大よい

三崎中学校校歌

珠洲の海原 そよ風渡り いま朝日の子 光のうちに  
玉も白たま より来る岸边 望みあふれて いそしみはげむ  
我等が 三崎中学校

校訓 自治 親和 責任

学校教育目標

自立して学び  
人と協働して  
貢献できる生徒の育成



令和5年7月26日 第4号 珠洲市立三崎中学校

珠洲市立三崎中学校

検索

## 心のスイッチを入れる

校長 濱野 裕之

1学期が終わりました。終業式の講話では、始業式で話した「心のスイッチ」に触れながら、大谷翔平選手について話しました。

大谷選手といえば、現在、アメリカの大リーグで、投手と打者の二刀流で活躍しているので、生徒全員が知っていました。その大谷選手が試合中にゴミを拾っている姿が動画やテレビで取り上げられ、話題になりました。

大谷選手は、このゴミ拾いについて、尋ねられると「人が捨てた運を拾っている」と答えています。

実は、これは、花巻東高校の佐々木洋監督の教えです。「ゴミを拾うことで人が捨てた運を拾い、自分自身にツキを呼ぶ。」という教えを、大谷選手は大リーガーになった今も続けているのです。

一見、野球とゴミ拾いは、関係がないように思えますが、自分自身がコントロールできない運までも、味方につけるという考えで行っているそうです。夢の実現のために、行為を継続するという精神的な強さについて話し、私たちも、もし心のスイッチが切れていたのなら入れ直し、夏休みの勉強や取組に前向きに臨んでいきましょうと生徒に話しました。

生徒に話した後、少し心にひっかかるものがありました。それは、大谷選手のゴミ拾いは、「見返りを期待した行為」なのだろうか？ということでした。ボランティアでは、自主性や無償性（見返りを求めない）ということが言われます。それは、自主性や無償性の中で活動することで、今までの生活では、気づかなかった学びや面白さ、やりがいに気づくことができ、人間的な成長につながるという良さがあるからです。

では、大谷選手の場合は、どうなのか？

その答えは、すでにこれまでの大谷選手の活躍が語ってくれていると思います。人が見えていなくてもゴミを拾うことは、「身の周りの些細なことにも気づく」力を知らず知らずに育むことになります。その力が野球にも生かされていくことになります。その結果、野球の技術のレベルが向上したり、人間性が向上したりします。私の推測になりますが、大谷選手のゴミ拾いは、見返りを期待したものではなく、自己の学びや成長につながる行為になっているのではないかと思います。

私たち三崎中学校では、ボランティア活動として、学校の玄関や自転車小屋などの清掃を行っています。朝、登校している生徒には、参加することは、進めています。私も掃除をしながら生徒の様子をみていると和気藹々とコミュニケーションしながら活動しており、とても良い雰囲気です。ゴミ拾いにも通じますが、掃除をすることも「気づく力」や「継続力」「行動力」などの様々な力をつけることにつながります。生徒達にはボランティアや掃除をすすめるとともに、その意義についても伝えていきたいと思っています。

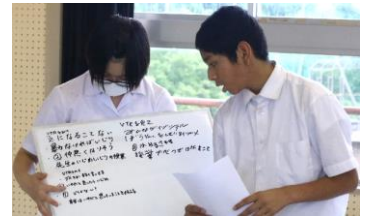


「いじめ撲滅集会」を行い、今回は、「その“いじり”，大丈夫？」について考えました。動画を視聴し、グループに分かれ、意見の交流をしました。ホワイトボードミーティングで学んだ手法を生かし、考えを伝え合う姿や他の人の考えを聞いて自分の中で問い返す姿がみられ、とても充実した集会となりました。グループの発表では「自分は“いじり”だと思っても、相手は嫌がっているかもしれない。」「“いじり”と“いじめ”の違いは難しい。」「しても良い“いじり”はあるのだろうか。」などの意見がありました。他学年の生徒と考えを交流することで、教室とは違った多様な考えに触れることができ、有意義な集会になりました。

あわせて、生徒会が募っていた“いじめ撲滅スローガン”の入選作品の発表とその表彰も行われました。スローガンはその後、生徒玄関に掲げられることになっています。いじめゼロの三崎中を継続していきましょう。

#### 【最優秀賞】

- ・「大丈夫？」その一言で 救われる ～いじめゼロ！ やさしい心の三中生！～（2年 瀬戸 愛生）
- ・「つくり出す みんなが 笑顔でいられる居場所」（3年 前 結音）



アンケート調査の結果、三崎中はいじめゼロです。



#### 【三崎中のマイクロバスについて】

長い間、三崎中の教育活動のために活躍してもらったマイクロバスですが、車体やミッション等の痛みが進み、生徒の安全を確保することが難しくなってきましたので、7月をもって廃車とすることとしました。現在は、市の所有となっておりますが、当初は三崎中育友会で購入していただき、生徒の教育活動を支えていただきました。これまでお世話になった皆様、本当にありがとうございました。



## 8月～9月上旬の行事予定

8月2日(水)	中学校体育大会北信越大会（相撲）	
8月4日(金)	親子議会（産業センター 14:00～）	
8月9日(水)	海岸清掃（小中連携ボランティア活動） 全校登校日	
8月11日(金)～17日(木)	学校閉庁日	
8月21日(月)	学校運営協議会（みさき小）	
8月31日(木)	体育祭予行練習	
9月1日(金)	2学期始業式	
9月3日(日)	体育祭（雨天の場合は4日）	
9月4日(月)	振替休業日	

#### おめでとう！

- ★県中学校相撲選手権大会 個人軽量級  
優勝 3年 干場 湧仁
- ★県中学校相撲大会 個人軽量級  
第2位 3年 干場 湧仁

#### 三崎中学校体育祭

9月3日（日）

三崎中学校グラウンド

※お弁当をお願いします。

北信越大会  
も頑張れ！

# 校内バレーボール大会

6月29日(木)

校内球技大会が行われました。今年度は、生徒数が18名ということで、6人制で1・2年生合同チーム VS 3年生チームの試合をしました。また、4人制で学年ごとに試合をしました。どちらも3年生が優勝しましたが、試合後の生徒の皆さんの表情は晴れやかでした。一人一人が達成感を得ることができる大会となりました。

1年生5人は人数も少なく、つきあいも長いので、正直私は、コミュニケーションは大丈夫だと思っていました。しかし、声をかけられずにボールを取りにいけなかったこともあり、改めてコミュニケーションの大切さを学びました。  
1年 新出 海羽

今回、2・3年生と一緒にバレーボールをして、仲良くなれたと思います。これからは、行事だけでなく、学校生活の中でも2・3年生と協力して、仲を深めていきたいです。  
1年 竹澤 奈乃花

練習の時にできなかった声かけも今日はみんな大きな声が出ていたのでよかったです。アタックはできなかったけど、レシーブは本当に練習以上に上手くできたと思います。  
2年 畠田 彩羽

大きな声で応援ができて、練習の成果を発揮することができたので、バレーボール大会は楽しかったです。特に4人制の3位決定戦では2年生と対戦し、全力でプレーし、勝つことができたので、特に楽しかったです。  
1年 宮崎 柊

試合に出ていない人も応援でチームを盛り上げようとしていたので、すごいなと思いました。次の球技大会では、試合に勝って、さらに盛り上げてもっと楽しめるようにしたいです。  
2年 前 颯人

うれしかったことは、得点を決めることができたことと、みんなとチームプレーができたことです。負けてしまいましたがすごく楽しかったです。来年は優勝したいです。  
2年 清水 一磨

全力を出し切ってバレーボールをしました。しかし、試合では、体育の授業で練習したブロックとアタックを決めることができなかったのが残念でした。決勝戦で負けてしまい、悔しかったので、次の球技大会は優勝目指して頑張ります。  
3年 竹中 猛

4人制では、はじめに2年生とやりました。1セット目2年生にリードされて、力んでしまい、1セット取られてヤバいと思いました。2セット目はギリギリ勝ててうれしかったです。3セット目も勝ち、うれしかったです。体育の授業で練習していた、三段攻撃があまりできなかったです。次の球技大会もがんばりたいです。  
3年 泉 心翔

応援ではたくさん声が出せました。1年生と2年生のどちらも応援できました。しかし、試合中の声かけはあまりできなかったです。ボールが来た時に「○○さん」と名前を言えばよかったです。次回の球技大会では、今回のように応援して、自分も活躍できるように努力したいです。  
3年 知家 日菜乃

今回の球技大会は、生徒会が企画運営をする最初の行事でした。自分にも仕事があたっていて、それをしっかりとやり遂げることができたのでよかったです。また、3年生のチームワークをより高めることができました。2学期・3学期にまた開催される球技大会が楽しみになりました。  
3年 前 結音

今まで体育の授業で学習してきたバレーボールの技能を生かすことができました。特にレシーブの精度をあげることができ、目標である三段攻撃をすることができました。また、声をかけたり、ハイタッチをしたりすることで、みんなを盛り上げることができました。  
3年 干場 湧仁



みんなで話し合い、作戦会議





## 体育祭 結団式

7月18日(火)

今年度も体育祭では赤団・青団の団対抗で競技を行います。結団式では、団長が団の目標を発表しました。その後、一人一人が体育祭に対する意気込みを自分の言葉で発表しました。それぞれの団が目標を達成できるように、力を合わせていきましょう。また、『海鳴りソーラン』については団に分かれず、全校生徒で行います。18名の息の合った演技で観客を魅了できるように練習中です。体育祭当日はどのようなパフォーマンスが見られるのか、今からとても楽しみです。



### 青団の目標 青天のへきれき!!疾風の青団

団長：干場 湧仁 副団長：竹中 猛  
理由：本番では、楽しむのを第一に、地域や保護者のみなさまに魅せる競技を全力でします。青団全員で最高の体育祭をつくりまします。



### 赤団の目標 翔べ！

団長：知家 日菜乃 副団長：泉 心翔  
理由：「翔べ」はローマ字で書くと「TOBE」となります。これを英語では、To be (～になる)となるので、「翔べ」には一人一人が主役になって活躍し、なりたい自分になるという意味が込められています。赤団が翔ぶことができるように全員で団結して頑張りたいです。

## 避難訓練 ～地震・火災～

7月11日(火)

地震災害はいつ起きるかわかりません。阪神淡路大震災は、早朝に発生したため、火災の被害も甚大でした。そのことも踏まえ、地震後火災が起きた場合の避難を想定した訓練を行いました。また、珠洲消防署の方に消火器の使い方とも指導していただき、実際に消火訓練も行いました。

避難訓練では、しゃがむ・かくれる・じっとするの三点をしっかりとできたので良かったです。また、避難するときは煙を吸わないようにマスクをしたり、頭を守ることができました。消火器の訓練では、実際に水を的に当ててみて火元以外に当ててもあまり意味がないということを実感することができました。 3年 川上 華凜

地震の避難訓練では、避難するときに教科書などで頭を守ることができました。階段を降りたときにどっちに行けばよいかわからなくなったので少し避難が遅くなりました。今まで消火器を使ったことがなかったので、使い方を知ることができてよかったです。消防署の方に話を聞いたら、本当に火災が起きているときは、焦ってしまい、フックを外さないことがあると知りました。また、粉が入っている消火器は少し重いそうです。本当に火災が起こったときには習ったことを活かして自分ができることを探したいです。 3年 高木 千穂



実際に消火器を使って訓練

